

佐賀大学だけの入試POINT

入試3つのポイントについて詳しくはこちら



POINT 1

自分の強みをアピールして加点! 特色加点制度 一般選抜

「特色加点制度」とは、高校時代に取り組んできた活動や経験を大学入試後にどう活かせるのか、「学びに向かう態度」を評価する佐賀大学独自の制度です。大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点とは別に、これまでの主体的な活動や実績をアドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請が必要なので積極的に活用しましょう。

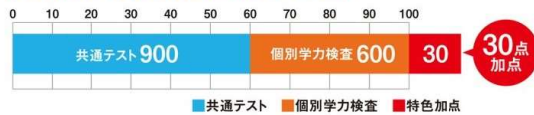
〈申請できる活動実績の例〉

- 研究活動 ● 課外活動 ● 学校行事 ● 社会活動 ● 資格・検定取得
- 海外留学経験 ● 大会・コンテスト ● その他主体的な活動

〈導入学部〉・教育学部・芸術地域デザイン学部(地域デザインコース)
・経済学部・理工学部・農学部



〈2023年度一般選抜の加点例(理工学部の場合)〉



POINT 2

検定試験のスコアを大学入学共通テストに換算! 英語外部検定試験の利用 一般選抜

英語外部検定試験の結果を一般選抜(前期日程及び後期日程)に利用できます。

〈利用できる検定試験(大学入学共通テストの英語は受験必須)〉

実用英語技能検定
英検CSEスコア2.0, 英検S-CBT,
英検S-Interview, 英検(従来型)全て含む

TEAP(4技能)

GTEC(4技能)
CBT, Advanced, Basicタイプの
オフィシャルスコアに限ります

TOEFL iBT

〈利用方法〉検定試験の成績を換算表に基づき、大学入学共通テスト(英語)の得点に換算し、大学入学共通テスト(英語)の成績とみなして合否判定に利用します。
・検定試験の換算点が、大学入学共通テスト(英語)の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。
・大学入学共通テストの英語(リーディング及びリスニングの合計200点)が100点を下回る場合には(得点率50%未満)、換算表の基準を満たしていても検定試験の換算は行いません。

POINT 3

タブレットを使って動画などの問題を解く! CBT試験 特別選抜

「佐賀大学版CBT(Computer Based Testing)」とは、ペーパーテストでは評価することが難しい「能力・資質」について、デジタル技術を活用して評価します。

TYPE1 基礎学力・学習力テスト

タブレット上で基礎的な問題を出題し解答します。すべての問題を解き終わった後、自動採点を行い、間違えた問題については正答と解説文が提示されます。更に類題の「再チャレンジ問題」に進み正答すれば、「学習力」が備わっていると評価します。

問題への解答後、採点ボタン
試験時間中に自動採点

全問正解
試験終了
基礎学力があると評価

間違えた場合
間違えた問題に対する解説表示
学習・理解

再チャレンジ問題へ進む **類題に再挑戦**

正答すると学習力があると評価

〈入試制度〉基礎学力・学習力テスト
〈導入学部〉経済学部(学校推薦型選抜I)、理工学部(学校推薦型選抜I)、農学部(学校推薦型選抜I、総合型選抜I)

TYPE2 思考力・判断力・表現力を問うテスト

動画を活用してペーパーテストでは評価できない思考力等を評価するテストです。

実験動画などをみる

問題のイメージ
・科学的な現象を説明する
・記述式は、解答用紙に記入する

着眼点:
科学的な思考力
や表現力を評価
します

〈入試制度〉思考力・判断力・表現力を問うテスト
〈導入学部〉芸術地域デザイン学部(3年次編入学)、医学部(3年次編入学)、理工学部 化学分野(総合型選抜I)

TYPE3 英語技能テスト

対話的コミュニケーションだけでなく、映像や資料の読み取りなどを基本にした基本的なプレゼンテーション能力もコミュニケーション能力(SpeakingとListeningのみ)の一部として評価します。ReadingとWritingは筆記試験で評価します。

英語4技能
(聞く、話す、読む、書く)

コミュニケーション能力
(プレゼンテーション能力も含む)

総合的に評価します

〈入試制度〉英語技能テスト
〈導入学部〉教育学部 英語分野(総合型選抜I)